



☆☆ニュースレター☆☆

第111号
発行日:2013. 7. 31
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長: 稲垣 正彦

発行責任者: 事務局長・眞柳 和俊

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX: 043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

◎「自主防犯団体情報交換会」開催

7月11日(木)志津コミセンにおいて今年2回目となる交換会が開催され、PTAや自治会防犯担当を含む17団体のほか、警察署や市役所の関係者ら約50名の参加者が集い、学童見守り対策関連など多くの意見交換がなされました。

◎第31回ユーカリ祭り:7月27日28日の土日、南公園で開かれた祭りには延べ56名の会員が参加、場内警備などを行いました。雨に降られ、特に2日目の18時ごろには救急車出動で混雑し、交通整理でずぶ濡れになるというハプニングがありました。



会員寄稿 -27- しまなみ海道ツーリング (苗木新作)

自転車の愛好者にとって尾道⇄今治の「しまなみ海道ツーリング」は男のロマンであり猛暑の中、瀬戸内海の絶景を楽しんできました。以下その顛末をご披露します。



(全体プラン): 1日目: 広島県尾道^{おのみち} →
むかいじま いんのしま いくちしま おおみしま
向島 → 因島 → 生口島 → 大三島 →
はかたじま おおしま いまぼり
伯方島 → 大島 → 愛媛県今治

2日目: 上記の逆コース

(実際の行動)

・7月17日(水)21時: 新宿から三原行の夜行バス(横3列シート)で尾道に向かった。しかし眠るために買ったワインを飲んでもバスのエンジン音や振動で約2時間位しか眠れず。

・7月18日(木)7時: 尾道に着いてまずは朝食をと思ったがどこも開店前だったため、仕方なくコンビニのサンドイッチで我慢。当初は自分のロードバイクで走るつもりでいたが、色々な制約から断念し、現地でレンタサイクル(ギア付クロスバイク、ヘルメットは持参)を借用(1日 500円)して出発した。

海道の起点・西瀬戸尾道ICに向かおうとしたが、現地の人に『そこは自転車道がなく危険』と言われたため、渡し船で約250m渡って向島ICへ。だが、そこでも自転車道入口の標識はなく一体どうなっているのかと標識を確認したところ、自転車道は、しまなみ海道自動車道が通る6島の各島を結ぶ橋(以下は次頁/裏面に続く)



休憩所(広島県向島)

*新入会員紹介: 「森美保(もり みほ)さん」(7/16 入会、宮ノ台2在)、「岡信子(おか のぶこ)さん」(7/16 入会、ユーカリが丘6在)、「今井新吾(いまい しんご)さん」(7/18 入会、ユーカリが丘4在)
上記3名はいずれも7月13日実施された「仲間と歩こう会」に参加後正会員として申込みされました。



大ジョッキ3杯空ける妻の夏

(NHK“ぼやき川柳” H22)

(前頁から続く)

のみ共有している(自転車と歩行者専用レーンも有料)ことが分かった。自転車で橋を渡るためにはその都度一般道路から高さ50~70m上を通る海道自動車道の橋(ビルだと20階建の屋上)まで約1kmのスロープを上り、橋を渡り終えるとまた一般道路まで下り、それぞれの島の中は自転車レーンのない道を通ることになる。がっかりした気持ちを元気モードに切り替える。天気は晴れ。猛暑のうえ睡眠不足でもあったが、極力無茶なスピードや走りを避け、かつ熱中症にかからないように充分水分を取りながら順調に3つ目の生口島に到着。



そこには“西の日光”とも呼ばれ日本各地の古建築を模して建てられた堂塔が並ぶ浄土真宗本願寺派の仏寺院“耕三寺”があり、中には美術品・文化財が多数所蔵され寺全体が博物館になっているとのこと。また寺の隣には“平山邦夫美術館”もあって多くの観光客でにぎわっていたが、ツーリングはやっと3分の1しか消化していないため見学は見送りとした。昼食はネットで調べておいた4つ目の島「大三島」の“大漁食堂”に入り海鮮丼(380円)にイクラとウニがトッピングされた“スペシャル丼(980円)”の2つを注文しようとしたら、『その

2つを一緒にした“全のせ丼(1200円)”がありますよ』と言われたので、それを頼む。大変美味しくボリュームもあり大満足。

満腹になったところで道路向かい側に渡り、全国にある山^{やまづみ}祇神社の総本社“大山祇神社”に参拝です。この神社は、山の神・海の神・戦いの神として歴代の朝廷や武将から尊崇を集めた神社と言われており、国宝8件、国の重要文化財76件を有し、境内には乎知^{おちのみこと}命の御手植楠と伝えられる天然記念物の古来御神木(樹齢2600年)があつて感銘を受けた。

その後はひたすら四国今治を目指して30度超えの中を走り、伯方島の道の駅でアイスクリームを食べながら「次の橋を渡ったら今治だ」と、観光案内を見ていたらもう1つ島(大島)があることに気付く。

大島の一般道路はアップダウンもあり一番の難所であったが、峠を超えると今日最後の橋である“来島海峡大橋(4105m)”が眼前に広がる。その雄大さ美しさには見惚れてしまい、本当に来た甲斐があつたことを実感した。海面約80mから見渡す瀬戸内海はまさに「絶景かな絶景かな」であった。橋を渡り終えた場所には国内の造船量でシェア26%を誇る今治造船所があり、時間があれば見学したかったが、夕暮れ時になってきたので安全第一と宿に直行。

宿の近くには今治城があり、また来島海峡大橋を遠望するうちに夕闇が静かに広まっていった。宿には一人旅(2人連れ以上を除く)の人が5人程いて、特に話しはしなかったが様子からすると自転車での人はいなかった。

一人で食べる夕食は侘しく愛媛版のテレビを見ながらビールを一気飲みしたが、食事が終わったときには残ったビールの空瓶3本がやけに人恋しさを覚えさせた。

・7月19日(金)7時起床:前日の逆コースで尾道へ。19時50分発の夜行バスで一路新宿へ。

写真(上):因島大橋

・7月20日6時30分新宿西口に到着

(下):大島側から来島海峡大橋を望む

総括しますと、今回のツーリング走行距離は2日間で往復195km。(しまなみ海道の自転車道は尾道から今治市街地まで寄り道をしなければ片道72km)。

色々苦労もありましたが、もう一度行きたいくらいすばらしいコース

でした。皆さんも車やバスだけでなくぜひ自転車でもこの海道を渡ることをお勧めします。各島での乗り捨ても出来ます。今度ご一緒にいかがですか? (H25.7.26 苗木記)

